

報道関係者各位

プレスリリース

2016年1月13日

株式会社スカイディスク

**簡単 IoT プラットフォーム実現のためのセンサデバイスを
開発するスカイディスクが第三者割当増資を実施
～ 開発人材の確保とマーケティング強化 ～**

Internet of Things(以下：IoT)サービスをより簡単に実現するためのデータチャブルセンサとクラウドサービスの開発を手がける株式会社スカイディスク(本社：福岡県福岡市、代表取締役 橋本 司、以下：スカイディスク)は、このたびニッセイ・キャピタル株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有馬 英二)、アーキタイプベンチャーズ株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：中嶋 淳)および株式会社ドーガン(本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：森 大介)がそれぞれ運営するファンドに対し、第三者割当増資を実施し、総額 1 億円を調達致しました。

今回の資金調達により、更なる経営基盤の強化を図るとともに、コアテクノロジーとなるセンサ開発技術やセンサデータ分析に長けた開発人材の獲得、センサデバイスの量産に向けた生産管理の強化を実施してまいります。各分野への積極的な投資により、さらなる事業の拡大を加速します。

■スカイディスクについて

スカイディスクは、IoT サービスをより簡単に実現するためのデータチャブルセンサとクラウドサービスの開発を手がけています。温度や加速度など 14 種類の中から 3 つを選択して取り付けられるセンサ「GINGA Box」とセンサデータ分析プラットフォーム「GINGA Cloud」を組合せ、農業や流通、環境のセンシングなど幅広い分野へサービスを提供することが我々のミッションです。

■IoT サービス提供分野について

IoT サービスは様々な適用分野がありますが、その中でも特に 3 つの分野に絞ってサービス提供を実施して行きます。一つ目は農業、二つ目は流通、三つ目は環境です。農業分野では既に「畑守(はたもり)」という農業 IoT サービスを提供し、農業用ハウスの状態の見える化を行なっています。また、流通分野では荷物の状態をトレースすることで運搬事故

の早期発見が実現できる仕組みを構築しています。環境分野においては、福岡でも非常に問題視されているPM2.5(微小粒子状物質)の状態を手元のスマートフォンなどで可視化できるセンサを開発しています。

■IoT 市場について

国内のIoT市場は2019年には16兆円に拡大する見込みのある巨大市場であり、その中で流通分野だけに絞っても2兆円にのぼる規模の市場です。一方でIoT全般という文脈においては一定の範囲で飽和しつつあり、2016年以降はより分野特化した市場へIoTが浸透してくことが期待されています。スカイディスクのGINGA BoxとGINGA Cloudを用いることで各分野への適用が容易に行なえるため、IoTの適用が遅れている分野への早期導入にも貢献できると考えています。

■会社概要

商号 : 株式会社スカイディスク
代表者 : 代表取締役 橋本 司
所在地 : 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-9-27-601
設立 : 2013年10月
事業内容 : センサデバイスの開発、センサクラウドの開発、センサを活用したサービスの提供
資本金 : 1億698万円
URL : <http://www.skydisc.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

企業名 : 株式会社スカイディスク
担当者名 : 橋本、城戸
TEL : 080-4148-2050、092-985-0817
Email : info@skydisc.jp